

【特色 2-3】 身体機能測定の意味

(1) 握力測定

意義	握力は生活動作との相関が高いことで有名です。また上肢のみならず、下肢を含めた高齢者の 全体の筋力の大まかな把握に有効 とされています。
方法	両手を各2回ずつ測定して良い方を記録します。

(2) 30秒イス立ち上がり回数

意義	下肢筋力、筋持久力、動作時のバランスの指標となります。立ったり座ったりは日常的な動作で、 歩行や立位での動作をより安全に行う事が出来るかどうか分かります。
方法	30秒でイスから何回立ち上げられるかを測定します。

(3) タイムアップ&ゴーテスト (TUG-T)

意義	日常生活における機敏性を評価する指標となります。 1 1秒以上で運動器不安定症のリスクが高まり、13.5秒以上で転倒のリスクがでてきます。
方法	イスから立ち上がり、3 m先の目印を折り返し再びイスに座るまでの時間を測定します。

(4) 5 M歩行時間

意義	歩行能力は全身の機能状態と深く関連しています。 5秒以上で信号青の時間内に横断歩道を渡り切れない事になります。
方法	5 Mを通常で歩いてもらい、その時間を計測します。

(5) 開眼片足立ち

意義	足の筋力やバランス機能を調べるのに適しています。長くできる人ほど歩行中に転倒しにくいという研究データもあり、安全な歩行の指標に適しているとされています。 1 5秒未満で運動器不安定症のリスクが高まります。
方法	片足を床から離し、足が付くまでの時間を測定します。

(6) ファンクショナルリーチ

意義	バランス能力を評価する指標です。 1 5センチ未満で転倒リスクが高いとされます。
方法	足を付けたまま、できるだけ体を前方に伸ばし、最大に伸びたところまでの距離を測定します。

【認知症の状態評価（DBD13改）】

DBD-13とは...

認知症者の行動・心理症状の存在は、介護者の負担を増し、在宅での生活を困難にする要因のひとつと考えられています。この行動症状を鋭敏に感知できる評価尺度として28項目からなる認知症行動障害尺度（Dementia Behavior Disturbance scale：DBD）が1990年に発表され、広く臨床・介護現場で使用されてきています。町田らは28項目あるDBDから因子分析を用いて、13項目を選びDBDの短縮版として発表しました。その中でDBD28と強い相関を示すだけでなくMMSEや基本的ADL、手段的ADLとは負の相関を示し、Zaritの介護負担尺度とは正の相関を示すことが明らかにされています。

あるぷすの家ではこの13項目の尺度を一部あるぷすの家版に改定し活用していきます。あくまでも送迎を含む利用中のご利用者様の様子を点数化しています。（自宅での様子は全く含まれていません。）

この点数が高いほど行動障害の度合いが強いだけでなく、介護者の介護負担が重く、ひいては在宅生活が困難である一因ということになります。

また結果を見て頂きながら、ケアマネージャー視点でサービスの見直しや追加の判断の際の参考となれば幸いです。

報告対象者：認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方とさせていただきます。

報告頻度：概ね月に1回

報告方法：訪問またはFAX

あるぷすの家版 認知症行動障害尺度（DementiaBehaviorDisturbanceScale：DBD13）改

利用者様氏名	評価日					認知症介護実践者研修修了者による
要介護度/認知症自立度	評価者資格					
認知症の行動・心理症状を数値化し、経過を見ることでサービスの見直しや追加等変更の必要性の参考にします	0点＝全く無い、1点＝殆ど無い、2点＝時々ある、3点＝よくある、4点＝常にある					
	18/11	18/12	19/01	19/02	19/03	
① 同じことを何度も何度も聞く	4	4	4	4	4	記憶障害
② よく物を無くしたり、置き場所を間違えたり、隠したりしている	4	4	4	4	4	記憶障害と一部取り違い反応
③ 日常的な物事に関心を示さない	4	4	4	4	4	アпатия（無気力、無関心、意欲低下）
④ 特別な理由がないのに午睡中に起きだす	4	4	4	4	4	睡眠障害
⑤ 特別な根拠が無いのに人に言い掛かりをつける	4	4	4	3	3	興奮や易怒性、自信喪失
⑥ 昼間（日中）寝てばかりいる	3	2	4	4	4	睡眠障害
⑦ やたらに歩き回る	4	4	4	3	3	多動性
⑧ 同じ動作をいつまでも繰り返す	3	3	3	4	4	多動性
⑨ 口汚くのしる	4	4	4	3	4	興奮や易怒性、自信喪失
⑩ 場違い或いは季節に合わない不適切な服装をする	2	2	2	2	3	時間の見当識、実行遂行障害、自己評価の障害
⑪ 世話をされるのを拒否する	2	2	2	2	3	病識のなさと自己評価の障害
⑫ 明らかな理由なしに物を貯め込む	4	4	4	4	4	実行遂行障害、記憶障害、潜在的な不安
⑬ 引き出しやタンスやカバンの中身を全部出してしまう	4	4	4	4	4	多動や実行遂行障害、興奮や易怒性
	46	45	47	45	48	

注1）あくまでも送迎～サービス利用中の利用者様の状態を評価しています

注2）認知症行動障害尺度（DementiaBehaviorDisturbanceScale：DBD13）を一部改訂しています